

# 弘前大学 オンラインウィンタープログラム

期間:10月19日(水)~12月13日(火)



## 概要

- ・ オンデマンドで受講できるオンライン授業
- ・ 初級~中級、中上級~上級の2つのレベルで行われる日本語コース
- ・ 英語と日本語の2言語で行われる日本文化講座
- ・ 総勢20名
- ・ 出願料・授業料免除

## 単位認定

参加者は、プログラムの3つのコースから自由を選択して受講できます。プログラム開始後2週間のコース登録期間を設けます。2週間で自分が履修するコースを選択してください。いかなる理由があっても登録したコースから脱落した場合はそのコースの評価は「D」となります。なお、登録期間中に登録しなかったコースの成績は成績評価書に載りません。

日本語(A/B) 1単位、日本の文化史 1単位、日本の現代文化 1単位

\* このウィンタープログラムの日本語コースは2つに分かれています。Aコースのレベルは初級から中級で、日本語能力試験のN4からN3レベルの人対象です。Bコースのレベルは中上級~上級で、日本語能力試験のN2以上の人対象です。コースの内容をよく読んで、自分のレベルに応じたコースを選んでください。

## お申込みの前に

学生は以下のことを確認する必要があります。

- ・ 自国で Microsoft Teams を使用することができる。
- ・ 英語の指導を理解し、英語で文化課題を提出できる英語力か、日本語の指導を理解し、日本語で文化課題を提出できる日本語力のどちらかを有すること。
- ・ 必ずコースの詳細を熟読してから申込みしてください。

## 申込方法

- ・ お申込みは、協定校のコーディネーターをお願いします。
- ・ 学生からの直接の応募は一切受け付けません。

# コース 1-A 日本語コース A

担当教員: 高橋千代枝 助教



レベル: 初級(中)~中級前半(日本語能力試験JLPT N4~N3程度/  
CEFR JF standard A2~B1)

※このコースを受けることができる人の日本語レベル:<ひらがな・カタカナが読めます・書けます、漢字が少し(10~50)わかります、basic grammar が わかります、「Subject は Noun です」「Subject は Adjective です」「Subject は Verb ます」など、3つの種類の簡単な文が作れます。です・ます体と、simple(dictionary)form がわかります。Verb conjugation: て(te)-form or ability form etc…がわかります。>

JLPT N5~N1: <https://www.jlpt.jp/e/about/levelsummary.html>

JF Standard: <https://jfstandard.jp/summaryen/ja/render.do>

CEFR JF Standard can do: [https://jfstandard.jp/pdf/cando\\_6levels\\_en.pdf](https://jfstandard.jp/pdf/cando_6levels_en.pdf)

JLPT/CEFR comparing: <https://nihongogogo.tumblr.com/post/122496349569/jf-standard-japanese-proficiency-levels-based>

※Before the registration, be sure to check if your Japanese level allows you to take this course.

If you don't know your level, please try to test of N5, N4 of this link [Sample questions]: <https://www.jlpt.jp/e/samples/forlearners.html>

When you felt N5 and N4 questions are too difficult, you can't take this course. This course is for (around)N4 level students aiming to reach N3 level or higher.

## コースの目的

- ① 自分の生活の身の回りにあることについて、簡単な日本語で話せるようになる
- ② 聞く人の印象に残る自己紹介ができるようになる

このコースでは、弘前大学の大学生が話している短い動画を見て、ワークシートの問題に答えたり、自分で話しているところを撮影したものを提出したりして初級日本語の勉強をします。

簡単な自己紹介から始め、大学の紹介や毎日の生活、大学の近くにある観光地の紹介や、青森県の伝統的な工芸品である「津軽塗」についても少し勉強します。コースの後半では、友人同士で「趣味」と「将来の夢」について話している動画を見て、自分の趣味や将来の夢を紹介する時に必要な語彙や文法を勉強します。最後に、1課~6課までに勉強した日本語を使って、聞く人の印象に残る「おもしろい自己紹介」を作って、動画を提出します。

【スケジュール】

だいいしゅう 第1週	<b>簡単な自己紹介</b> 名前、所属、学年、出身地、あいさつなどの語彙や表現で、かんたんな自己紹介をする。地域の言い方、方向を表す語彙などを学ぶ
だいいしゅう 第2週	<b>大学紹介</b> 大学の紹介や大学生の生活について話すときに使う語彙や文法、表現などを学ぶ／自分の大学の施設やオリジナルグッズ、売っているものや、好きな食べ物を日本語で紹介する
だいいしゅう 第3週	<b>観光地の紹介</b> 観光地を紹介する時に使う語彙や文法、表現などを学ぶ／自分の住んでいるところの観光地について紹介する
だいいしゅう 第4週	<b>コラム「津軽塗」</b> さくら祭りに出店している「津軽塗」の店の店員さんにインタビューしたビデオを見て、津軽塗について知る／自分の国の伝統工芸を紹介する／何かを作る説明をするときに使う日本語を学ぶ
だいいしゅう 第5週	<b>趣味について話す</b> 友人同士が自分の趣味について話しているところのビデオを見て、自分の趣味について話すときに使う語彙・文法・表現を学ぶ／自分の趣味について短い作文を書く
だいいしゅう 第6週	<b>将来の夢について話す</b> 友人同士が将来の夢について話しているところのビデオを見て、自分の将来の夢について話すときに使う語彙・文法・表現を学ぶ／クラスメートか日本人のパートナーに、「夢」についてインタビューしているところをビデオに撮って提出する
だいいしゅう 第7-8週	<b>おもしろい自己紹介をする</b> 弘前大学の大学生が「おもしろい自己紹介」をしているビデオを見て、その内容を理解し、ワークシートの問題に答える／自分の「おもしろい自己紹介」を日本語で作って、ビデオを提出する

※サンプルを見て、レベルをチェックしてください。

[WinterProgram2022](#)





## コース 1-B 日本語コース B

担当教員：長尾和子 准教授

レベル：中上級～上級(日本語能力試験 N2、CEFR B2程度以上)



☆このレベルでは生教材を読んだり、聞いたり、インタビューをしたり、社会的なテーマについてディスカッションしたりする JLPTN2, CEFR B2 以上の日本語能力が必要です。以下のリンクで日本語のレベルを確認してください。

JLPT N5～N1: [N1～N5:認定の目安 | 日本語能力試験 JLPT](#)

JF Standard: <https://jfstandard.jp/summaryen/ja/render.do>

CEFR JF Standard can do: [https://jfstandard.jp/pdf/cando\\_6levels\\_en.pdf](https://jfstandard.jp/pdf/cando_6levels_en.pdf)

JLPT/CEFR comparing: <https://nihongogogo.tumblr.com/post/122496349569/jf-standard-japanese-proficiency-levels-based>

※登録前に自分の日本語レベルがこのレベルに[あっているかどうかを確認してください。](#)

自分の日本語のレベルが分からなければ、次のリンクの N2 のサンプルテストを[やってみてください](#)

【Sample questions】: <https://www.jlpt.jp/e/samples/forlearners.html>

### コースの目的

- ① 日本語で社会的な話題について意見交換をする
- ② 日本語の生の資料を使って、話題に関連する文法や語彙を習得する

このコースでは生の資料や教材の読解・聴解からインプットを得て、ノートテイキング、インタビュー、ディスカッション、レポートの書き方などのアカデミックスキルを学びます。

自己紹介動画(L1)や地域紹介のプレゼンテーション(L2)、フードマイレージに関する意見を述べた動画(L6)を作成し、弘前大学の日本人学生と知り合い、個人的・社会的な話題について話します。

第 1 週	グループのメンバーを知ろう 自分について知ってもらう・クラスメートについて知る 性格のことば
第 2 週	弘前について知り、自分の住んでいる町のパンフレットを作ろう 弘前ってどんなところ？ 弘前のパンフレットを読む 自分の町の魅力を伝えるプレゼンテーション
第 3 週	子供のころについて詳しく話そう 子どものころ好きだった本について話す: あらすじ、一番好きな場面、この本が好きな理由や子供のころの思い出
第 4 週	社会のアクションについて知ろう メモを取りながら、ラオスの子供たちに絵本を届けるプロジェクトのインタビューを聞く
第 5 週	弘前の取り組みを知ろう インタビューの仕方 弘前の味噌づくりに関するインタビュービデオを見て、ノートをとる 専攻や将来の夢についてインタビューをする

第6週	<b>社会問題を解決するための取り組みについて調べよう</b> フードマイレージって何？インタビューを聞いてノートを取り、良い点と悪い点をまとめた意見のビデオ作成とコメント
第7週	<b>ニュースについての意見をまとめよう</b> 気になるニュースを選んで、自分の意見をロジックツリーでまとめる
第8週	<b>ディスカッションの仕方・レポートの書き言葉</b> ニュースについてディスカッションし、レポートにまとめる

## コース 2 日本の文化史

### - 津軽近代文化史の概説

担当教員: サワダ ハンナ 准教授



このコースではバーチャル・フィールドトリップに出かけて、弘前大学が位置する北日本津軽地方のバイタリティーに満ちた地方文化を形作った歴史をたどります。

5500年前に狩猟採集民だった縄文人が暮らしていた遺跡から出発し、その後文明の栄えた遺跡を訪れて米の栽培がもたらした社会の変動を確認します。封建時代の生活について学ぶために弘前城を中心とする城下町を探検し、忍者屋敷や剣術の道場を覗きます。今なお続く様々な生活習慣の由来となる信仰を知るためにイタコが死と生の世界を結ぶ地蔵尊へ赴き、お寺で坐禅体験もします。その後、この文化背景の中で生まれた音楽、芸術やナラティブを味わい、近代化のインパクトと伝統の再構築について考えます。

第1週	縄文文化 - 三内丸山遺跡
第2週	米栽培と文化の変動 - 高屋敷館遺跡、浪岡城跡、堀越城跡
第3週	法権社会 - 弘前城
第4週	城下町 - 忍者屋敷と剣術道場
第5週	信仰 - 坐禅体験と賽の河原地蔵尊
第6週	音楽 - 津軽三味線
第7週	ねふた絵とナラティブ
第8週	近代化と伝統の再構築 - 弘大カフェ

## コース 3 日本の現代文化

- イメージと感性のための素描

担当教員：諏訪 淳一郎 准教授



出典：Wikipedia 『鍛冶町』 <https://w.wiki/4z8Q>

この授業では、近年ますます注目されている非西洋的な観点から現代文化について扱い、事例検討を通じてグローバル社会における相互理解と持続可能な発展に向けたオルタナティブな視座を得ることを目的とする。それぞれの講義は日本の現代文化について内的な視点から論じていく。前半の4回では、「～になる becoming」という概念から「カワイイ」の美学、祭り、持続的な地域の経営体について扱う。後半の4回では、『千と千尋の神隠し』と『鬼滅の刃』について、「異界」をキーワードとして作品のリアリティについて分析する。

第1週	「なる」
第2週	カワイイの美学
第3週	祭りという装置
第4週	持続可能になるということ
第5週	異界の思考
第6週	『千と千尋の神隠し』
第7週	『鬼滅の刃』(1)
第8週	『鬼滅の刃』(2)